



City of design NAGOYA
Member of the UNESCO
Creative Cities Network
since 2008

主 催 | 名古屋市住宅都市局都市計画部都市景観室
TEL : 052-972-2732 FAX : 052-972-4485
E-mail : a2732@jutakutoshi.city.nagoya.lg.jp

共 催 | 公益財団法人名古屋まちづくり公社、大ナゴヤ大学

協 力 | 公益社団法人愛知建築士会、愛知県広告美術業協同組合、一般社団法人愛知広告協会、
公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー、大ナゴヤツアーズ

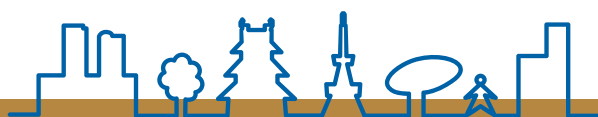
発 行 | 平成31年3月

第4回

選

集

まちなみデザイン賞
ちなみデザイン
20選



名古屋
まちなみ
デザイン
セレクション

NAGOYA Machinami Design Selection



名古屋市



名古屋市長
河村 たかし



有識者懇談会 座長
中村 研一

第4回名古屋まちなみデザインセレクションによせて

名古屋のまちは今、急速に変わりつつあります。リニア中央新幹線の開業に向けた名古屋駅周辺のまちづくり、久屋大通公園の再生と栄地区の再開発、そして名古屋城天守閣の木造復元といった大きなプロジェクトが進行し、今後、これらの進捗にあわせてますます国内外からの来訪者の増加が見込まれています。

このような状況の中、大勢の人々を魅了するまちづくりを進めていくためには、建物ごとの個々の魅力だけでなく、地形やその地に伝わる歴史・文化など、それぞれの地域の特性を生かした良好な景観の形成が一層重要になってくるものと考えています。市民生活や都市活動の中に形づくられる景観を良好に守り育てていくためにも、まずは市民の皆さんが身近な景観に関心を持ち、そしてまちづくりに積極的に取り組んでいただくことが何より大切であると考えています。

まちなみデザインセレクションは、こうしたまちづくりに欠かせない市民の皆さんの景観に対する意識を高めることを目的に開催しているものです。

このたび選定された風景は、名古屋を象徴するものや、こんなところがあったのかと思わずにはいられないようなものばかりです。市民の共有財産とも言うべきこのような風景を大切にしていくとともに、今後も、名古屋らしさを感じる景観づくり、魅力づくりに市民の皆さんと一緒に取り組んでいきたいと思えます。

まちなみデザイン賞 審査総評

— まちの多様性へ —

まちなみデザイン賞の選考過程において現地を訪ね、議論を重ねることで、あらためて名古屋がもつ歴史の豊かさとまちの多様性を大事にしたいと考えるようになりました。建築物・工作物部門で「グローバルゲート」を評価したのは、中川運河船だまりという歴史的遺構を大切にしたいマスタープランに真摯に向き合っているからです。既存の住宅地に巧みに溶け込むことで評価された、規模のずっと小さなシェアハウス「LT城西2」や、武家屋敷の雰囲気を残す「料亭か茂免の白壁」が「グローバルゲート」と同じ部門で選ばれていること、そして伝統工芸といってもよい「印傳屋名古屋御園店のサイン」と商業施設の新たな展開を印象づける「ランブライトブックスホテル名古屋のサイン」の2つが広告物部門で並んでいることが、多様性を大事にしたいという有識者懇談会の考えの現れなのです。

また、私たちが実際に目にしているまちなみの背後には、多くの人々の思いがあります。景観まちづくり部門の「名古屋折り紙建築」は、日常的でありながら人々の記憶の中で大事な位置を占めている風景を折り紙として再現しており、まちの未来を担う子供たちにも楽しみながらまちに目を向ける契機となる活動が素晴らしいと思いました。同時に、期間が限定されたイベントである「SOCIAL TOWER PROJECT」や「街茶MACHI-CHA」を評価したのも、まちの記憶をつくり、次世代のまちを考えさせる重要なイベントだと考えるからです。

市民の皆さんが受賞作品を実際に訪れ、ご自身の目でまちの豊かさを再確認する機会としていただけると嬉しく思います。

第4回名古屋まちなみデザインセレクションの概要

趣旨

「お気に入りの風景・まちなみ」の投稿や市民投票への参加などをきっかけとして、市民の皆さんに魅力ある景観づくりに関心をもっていただき、名古屋のまちへの愛着や誇りを高めることを期待して実施しました。

今回の特徴

● まちなみデザイン賞

建築物・工作物部門、広告物部門、景観まちづくり部門の3つの部門を設け、候補物件等を募集し、選定しました。

● まちなみデザイン20選

募集テーマを設定し、Instagram、Facebook、TwitterといったSNSを用いた投稿募集を行うとともに、会場投票のほか、公式ウェブサイト内で市民投票を行い、選定しました。

流れ



選定された風景・まちなみ

まちなみデザイン賞

建築物・工作物部門

- 5 LT城西2
- 6 グローバルゲート
- 7 料亭か茂免の白壁

広告物部門

- 8 印傳屋名古屋御園店のサイン
- 9 ランプライトボックスホテル名古屋のサイン

景観まちづくり部門

- 10 SOCIAL TOWER PROJECT
- 11 名古屋折り紙建築
- 12 街茶MACHI-CHA

まちなみデザイン20選

- 15 納屋橋の再生
- 16 桜通のイチョウ並木
- 17 希望の泉
- 18 希望の広場から見たテレビ塔
- 19 円頓寺商店街
- 20 日泰寺奉安塔への階段
- 21 徳川園
- 22 堀川から見た国際会議場
- 23 山崎川・秋の桜並木
- 24 船上から見た名港トリトン
- 25 万松寺の夜景
- 26 錦三丁目の夕景
- 27 金シャチ横丁とお堀の間の緑のトンネル
- 28 平和公園の「虹の塔」
- 29 坊ヶ坂
- 30 広小路通沿いのデパート
- 31 ルーセントタワー付近から見た名古屋駅ビル群
- 32 名古屋女子大学中学校・高等学校周辺の桜並木
- 33 長者町繊維街
- 34 ノリタケの森から見た名古屋駅ビル群

- 36 皆さんのコメントをご紹介
- 37 位置図



名古屋
まちなみ
デザイン
セレクション

NAGOYA Machinami Design Selection

まちなみデザイン賞

公募の中から、良好な風景・まちなみに貢献している「建築物・広告物・まちづくり活動等」を、有識者懇談会の意見を踏まえて選定しました。



撮影：谷川ヒロシ



撮影：谷川ヒロシ

所在地

西区城西三丁目

所有者

個人

設計者

諸江一紀建築設計事務所
鈴木崇真建築設計事務所

完成時期

2017年1月

概要

シェアハウス 木造地上2階

講評

まちなみを彩る建築に目が行きがちデザイン賞の審査において、街に溶け込む配慮が逆に印象的でした。新しい建築なのに、昔の隣近所のコミュニティを思い出させるどこか懐かしい空間です。また、大きな四角い箱にすれば建築コストが削減され、部屋数も多くできるのに、あえてしないことに設計者と施主の住む人への優しさを感じます。シェアハウスという新しい形態が地域住民を不安にさせないようにする配慮も高評価でした。ここに住みたいと思う素敵な建築でした。

【平井秀和】





撮影: エスエス名古屋



撮影: エスエス名古屋



撮影: エスエス名古屋

所在地

中村区平池町4丁目(ささしまライブ24土地区画整理事業区域内)

所有者

ささしまライブ24特定目的会社

設計者

株式会社竹中工務店

完成時期

2017年3月

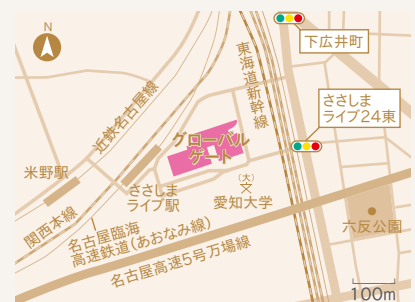
概要

高層タワー | 地上37階地下2階
大和ハウス名古屋ビル | 地上17階地下2階
低層棟(商業施設) | 地上4階地下2階
延床面積: 157,543.96㎡

講評

ささしまライブ24は、平成11年度から名古屋市の土地区画整理事業として整備が始まり、商業施設やライブホールを皮切りに、研修施設や大学施設、集合住宅、ブライダルやホテル、放送局などが建設されてきた。開業まもない施設も多く、一体感の醸成は十分とはいえない中で、垂直性が強調された高層の複合商業施設「グローバルゲート」は、名古屋の新しい顔としての潜在能力も高い。街路樹の緑がまちなみをつなぎ、低層部が創出するエリア全体のにぎわいに期待したい。

【中井孝幸】





所在地

東区白壁四丁目

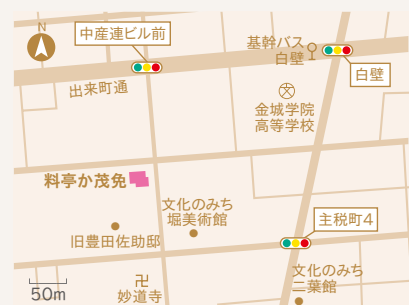
所有者

株式会社 加茂免旅館

講評

武家屋敷街の代名詞・東区白壁町。今では白壁を有する建物は決して多いとは言えないが、料亭か茂免は、その町名を守るかのごとく、白壁を保ち続けている。聞けば、かつて当料亭の料理人が器用な手先を使って、白壁の補修をしたこともあるのだとか。美しく積まれた石垣の職人仕事にも注目したい。まちなみデザイン賞は、新しい建物やデザインに対するものだけでなく、時のふるいにかかった建築物を保存し、ととのえる努力にも贈られるべきである。

【近藤マリコ】





所在地

中区栄一丁目

広告主

株式会社印傳屋上原勇七

デザイナー

株式会社印傳屋上原勇七

講評

甲州の伝統工芸品・印傳(いんでん)の専門店の外壁とロゴマークは、伝統的なデザインなのにモダンな印象を与えている。専門家によると、この石壁は技術と手間と時間がかかったもので、今や失われつつある貴重な手仕事でもあるのだとか。それはまるで、この店の伝統工芸品の価値の高さを象徴しているかのように見える。一分の隙もないような緻密でシャープな壁に、印の文字がデザインされた広告物が見事なハーモニーを見せている。

【近藤マリコ】





所在地

中区錦一丁目

広告主

ソラーレ ホテルズ アンド リゾーツ
株式会社

デザイナー

株式会社セイトロウデザイン

講評

ブリック風の壁にネオンサインのロゴが映える素敵なサインです。ネーミングも秀逸で、このホテルでどう過ごして欲しいかが明快に伝わってきます。向かいにある下園公園との関係もいい感じです。ホテルは格安サイトで選択することが多くなっていますが、その中にあっても価格訴求のみではなく、ここで過ごしたいから泊まるという選択をしたくなるいいサインだと思います。このサインによって周りに同じ波長の人や店が集まり、街が作られていく期待感を持ちました。【平井秀和】





活動団体

SOCIAL TOWER PROJECT
実行委員会

活動内容

2012年に名古屋市からの委託事業としてスタートし、翌年度からはスポンサーなしで、NPO、地域団体、大学研究室、行政による実行委員会を結成。毎年10月開催のマーケット・音楽イベント「SOCIAL TOWER MARKET」のほか、フリーペーパー「SOCIAL TOWER PAPER」の発行などを行っています。

講評

各地で開催されるマルシェにおいて景観的な統一感があるものは少ない。SOCIAL TOWER PROJECTは、黄色とシルバーをコンセプトカラーとし、テレビ塔をイメージした三角のガーランドによる装飾がある、いわば景観配慮型マルシェであり、デザイン都市・名古屋に相応しいものとして高い評価を集めた。また100名を超える市民ボランティアらの情熱と参画によって、都市に新しいムーブメントを起こしてきたことも高く評価された。
【三矢勝司】



活動団体

team折り紙建築

活動内容

街かどにたたずむ古めかしい建物や、苔のむした大きなレンガの工場に、今では当たり前になってしまった輝かしい街のシンボル。そんな文化財としての貴重な建物を、手のひらサイズの折り紙建築にしました。また、それらを順に並べることで、愛知の近代化の歴史を、一つの物語のように俯瞰できることも見どころです。

講評

折り紙建築は、1981年に東京工業大学教授の茶谷正洋氏が考案し、飛び出す絵本のように、折り畳まれた一枚の紙から建物が立体的に現れる折り紙のことで、子どもたちにも馴染みやすいのが特徴である。「名古屋折り紙建築」は、愛知県内の歴史的な建造物を対象にワークショップを開催し、できた作品をギャラリーや図書館で展示している。こうした活動は、子どもからお年寄りまで、幅広い世代に対して都市や地域、まちなみを考える「きっかけ」になることが高く評価された。

【中井孝幸】



撮影:谷川ヒロシ



撮影:谷川ヒロシ

活動団体

街茶MACHI-CHA

活動内容

名古屋は古くからお茶が庶民にも浸透し、日常的に楽しまれてきたまち。そんな名古屋のまちなかを大きなレース布や金色紙のついででゆるやかに間仕切り、ひと味ちがった名古屋の街の日常風景を再発見しながらお茶を楽しむ、古くて新しいスタイルの茶会です。

講評

名古屋で古くから親しまれてきたお茶の文化を空間デザインの力で演出し、日常的風景の中に非日常的な風景を挿入することで新しい風景(景観)を出現させている点が高く評価された。特に、ナディアパークやKITTE名古屋の吹き抜けといった街中の空隙を茶庭や茶室にみたく、ゲリラ的に仕掛ける手法は、従来お茶に親しんできた市民にはもちろん、それまでお茶に対する関心が低かった市民をも巻き込む運動性があり、都市のダイナミズムを喚起している点が優れている。

【三矢勝司】





名古屋
まちなみ
デザイン
セレクション

NAGOYA Machinami Design Selection

まちなみデザイン20選

投稿いただいた中から、市民の皆さんが「好き・大切にしたい」風景・まちなみを市民投票により選定しました。



過去と今が調和する 堀川沿いの景色

名古屋を南北に流れる堀川は、江戸のはじめに福島正則によって開削され、それ以来まちの発展を支え続けてきた。写真手前の「旧加藤商会ビル」は、昭和6(1931)年頃に建てられ、大正から昭和初期の建築様式を今も残している。一方で、納屋橋の奥に見える「 Terrasse 納屋橋」は、堀川端に新たな賑わいを生むスポットとして平成29(2017)年9月にオープンした。まちを取り巻く時の流れが1枚の写真の中で鮮明に感じられる場所である。



所在地 | 中区錦一丁目、栄一丁目

投稿者

Y.S さん

タイトル

市民がイキイキ暮らすまち — 納屋橋の再生 —

コメント

納屋橋は堀川の開削以来、人々の営みで賑わう街であった。旧加藤商会や納屋橋、堀川護岸といった歴史的資源を継承したデザインの Terrace 納屋橋もオープン。Terrace 納屋橋の市民に開かれた堀川を望むテラスでは様々なイベントが行われて、納屋橋らしい景観の中に人々の賑わいが見られる。



秋には黄金色に染まる 桜通の並木道

毎年11月頃にイチヨウの葉で黄金色に染まる桜通。このイチヨウ並木は昭和12(1937)年に開催された「名古屋汎太平洋平和博覧会」の際に記念植樹されたもの。昔は緩速車道の分離帯にイチヨウとサクラが交互に植えられていたが、現在、サクラは残っていない。桜通という名の由来は諸説あるが、桜通と本町通が交わる交差点近くにある「桜天神」からきており、この神社にもかつて大きなサクラがそびえ立っていたという。
*名古屋市都市景観保存樹(平成7年指定)



所在地 | 中村区名駅五丁目～中区錦一丁目

投稿者

a405yo さん

タイトル

桜通のイチヨウ並木

コメント

名前は桜通ですが、見事なイチヨウ並木が続きます。昔から大好きな眺めです。



賑やかな栄の街で

清涼感を感じられる噴水の広場

昭和44(1969)年、当時の名古屋放送(現・名古屋テレビ放送 通称・メーテレ)が造り市に寄附した噴水の「希望の泉」は、人も車も多数行き交う栄のまちなかにありながら、長年公園に集う人々に清涼感と水の音の癒しを与えている。噴水の北側には「名古屋テレビ塔」があり、噴水越しに眺めるテレビ塔は名古屋を象徴する景色のひとつ。

*噴水稼働時間：午前9時から午後8時まで(7月、8月、9月は午後9時まで)



所在地 | 中区錦三丁目

投稿者

山田 修さん

タイトル

希望の街

コメント

水の流れと背景がマッチしていて美しい。



名古屋の時を映す景色のひとつ 集う人々が彩る久屋大通公園

名古屋の中心地、栄を南北に貫く「久屋大通公園」と、夜も賑わう華やかなまちなみの中で色とりどりにライトアップされる「名古屋テレビ塔」は、栄の街を象徴する存在となっている。ここにはその時々
の流行や文化が交差し、時代を映す場所として、集う人々が彩りを添えてきた。そんな久屋大通公園とテレビ塔が、平成の終わりに大規模な改修工事をスタートさせ、大きな変化への一歩を踏み出した。名古屋の時を映す場所が大きく変わる。
*テレビ塔のライトアップは改修工事に伴い中止しています。



所在地 | 中区錦三丁目

投稿者

山田 修さん

タイトル

アーティストが生まれる街

コメント

今は2人のファンがやがて実力を発揮し大きなライブステージへ……



名古屋駅からほど近い昔ながらの商店街 レトロで新しい円頓寺のまちなみ

名古屋を代表する商店街のひとつ「円頓寺商店街」は、徳川家康の命により行われた清須越し以降の名古屋の発展と共に、寺社の門前町として栄えていったとされる。昔ながらの下町の雰囲気を残すまちなみだが、近年は個性的な店舗が増え、新たな賑わいが創られている。七夕祭り、パリ祭など、大勢の人が足を運ぶイベントも豊富。平成27(2015)年にはアーケードが改修され、新しさの中にレトロが感じられる看板が迎えてくれる。



所在地 | 西区那古野一丁目

投稿者

小川あやこさん

タイトル

あかり、灯る

コメント

夕陽に照らされる円頓寺商店街の看板がとても綺麗でした。日が暮れてからもあかりが灯り続ける商店街。名古屋の好きな街並みのひとつです。



覚王山日泰寺のツツジ 色鮮やかな花々を愛でられる奉安塔へ続く階段

日本で唯一、いずれの宗派にも属さない「覚王山日泰寺」は、明治37（1904）年にタイ（当時はシャム）から寄贈されたお釈迦さまの真骨を安置するために建てられた。その真骨を納めた「奉安塔」は、本堂のある敷地から北東の少し離れた場所にひっそりと建っている。奉安塔へと続く階段を囲むように植えられたツツジは、毎年4月から5月頃に満開となり、赤、白、薄紅と色鮮やかに拝観者を迎えてくれる。

*奉安塔は非公開です。



所在地 | 千種区城山新町

投稿者

佐々基成 さん

タイトル

春の彩り

コメント

毎年4月下旬頃から、釈迦の遺骨を安置する奉安塔（県文化財指定）への上り階段両脇に、見事な色彩で色とりどりのツツジが満開となります。未公開などで内部には入れませんが、お参りは参拝門から。



春夏秋冬、趣を変える徳川園 都会で出会える自然豊かで美しい庭園

「徳川園」の起源は、元禄8(1695)年に尾張徳川家二代藩主の光友が、自ら造営した隠居所の大曾根屋敷に移り住んだことにある。光友の没後、家老の成瀬・石河・渡邊の三家に譲られ、明治22(1889)年に尾張徳川家の邸宅となり、昭和6(1931)年、名古屋市へ寄附された。池泉回遊式の日本庭園は、春夏秋冬、季節の花に彩られ、冬には写真のように真っ白に雪化粧する日も。庭園の中心的存在である「龍仙湖」をのぞむ「観仙楼」は、レストラン、ホールなどで利用されている。



所在地 | 東区徳川町

投稿者

佐々基成 さん

タイトル

冬の風物詩

コメント

尾張二代藩主光友が造営した徳川園。撮影日に名古屋には珍しく雪が積もった白銀と、同時期に彩りが綺麗な藁帽子をかぶった冬牡丹の鉢植えが鑑賞でき、良き風景となりました。



かつて貯木場だった白鳥は 名古屋と世界が出会う場に

江戸のはじめから、名古屋城下町の繁栄を支えた木材が行き交った堀川。当時は白鳥周辺も、木曾川をくだり熱田から堀川へと運ばれたヒノキなどを集積する貯木場として使われており、昭和43(1968)年にその役目を終えた。その後、平成元(1989)年に「世界デザイン博覧会」の白鳥会場として使用され、平成2(1990)年には名古屋国際会議場が建てられるなど、さまざまな整備が進んだ。



所在地 | 熱田区熱田西町

投稿者

seagrassさん

タイトル

時の水鏡

コメント

堀川の水面に映った風景が時を映す水鏡のように感じました。



春には桜、秋には紅葉 四季折々に美しい山崎川のほとり

春には一面の桜でピンクに色づく、名古屋市を代表する桜の名所・山崎川は、平和公園の猫ヶ洞池を水源とし、名古屋港へと注ぐ13.6kmの河川。石川橋から新瑞橋までの2.8kmに、約600本のソメイヨシノが植えられている。昭和63(1988)年から「ふるさとの川整備事業」の一環として、山崎川の水辺にふれ合える散策路の整備が進められている。毎年11月頃には紅葉が見頃を迎え、1年中を通してゆったりと散策が楽しめる名古屋有数のスポット。



所在地 | 瑞穂区初日町、松月町、石川町、御蔭町(おたばこちょう)

投稿者

猪子重正 さん

タイトル

山崎川・秋の桜並木

コメント

桜で有名な山崎川ですが、秋になると桜の葉っぱが落ちる前に、素敵な紅葉並木を見せてくれます。



伊勢湾岸自動車道にかかる三本の大橋 名古屋の港の大きさを物語る眺め

「名港トリトン」は、伊勢湾岸自動車道の「東海」「名港潮見」「名港中央」「飛島」の4つのインターチェンジを結ぶ3本の海上斜張橋で、「名港東大橋」「名港中央大橋」「名港西大橋」をまとめた愛称。平成10（1998）年に開通した3本の橋の長さは合わせて2.5kmにも及び、その大きさは世界的規模と言えるが、厳しい自然条件を想定し、風水害や地震など大災害にも耐えられるように頑丈に設計されている。



所在地 | 港区金城ふ頭～潮見町

投稿者

YKさん

タイトル

船上から見た名港トリトン

コメント

車で渡るのも良いですが、下から眺めるのも素敵です。小学生の頃に橋を渡った時のワクワク感を思い出します。



夜の大須を照らす壁一面の提灯 織田、徳川とも縁ある万松寺

天文9(1540)年に織田信長の父・信秀が織田家の菩提寺として開基した「万松寺」。幼少期の徳川家康も織田家の保護のもとで3年ほど過ごしたといわれ、慶長15(1610)年、名古屋城の築城にともなって現在の大須の地に移転された。大正期には寺領の大部分を開放し、大須商店街の誕生にも貢献。近年では大規模な改修工事が行われ、納骨堂なども新たに設置された。夜になると毎日たくさんの提灯が点灯し、大須の街を明るく彩っている。



所在地 | 中区大須三丁目

投稿者

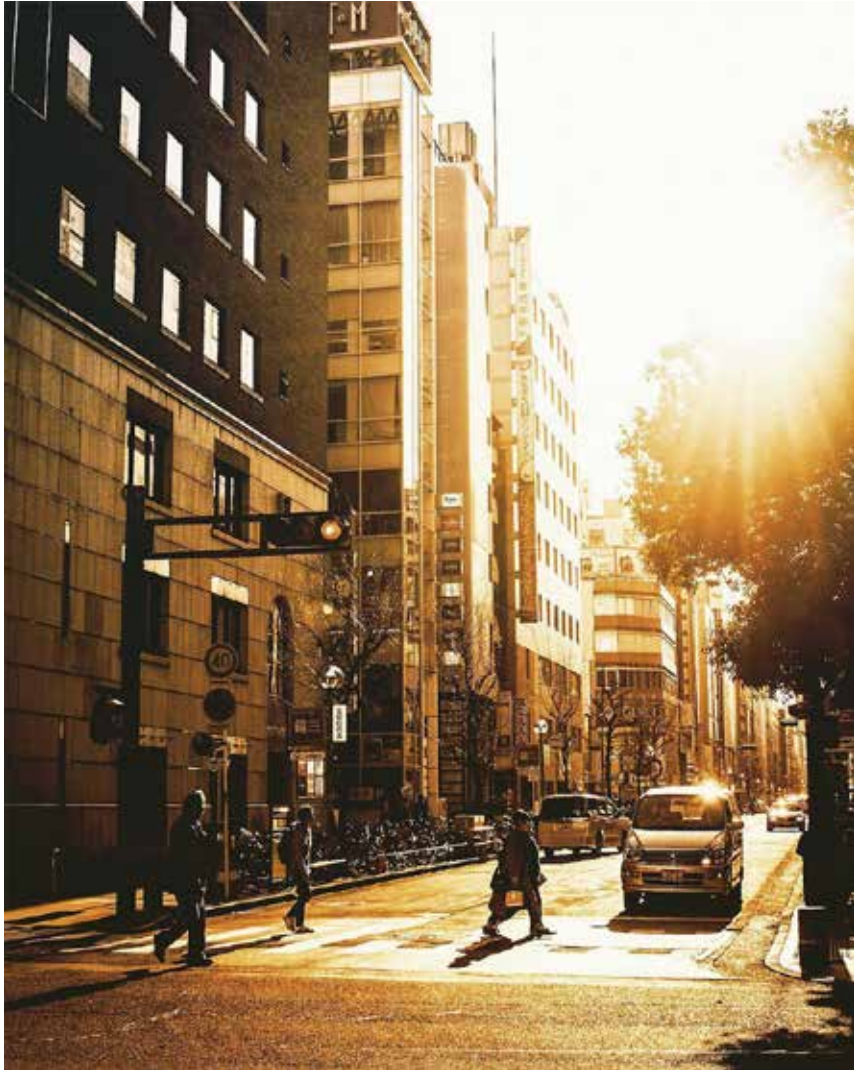
はらたまさん

タイトル

万松寺夜景

コメント

商店街の中に建つ現代的？なお寺。まだ中に入った事はありませんが興味をそそられます。



名古屋随一の繁華街に差し込む夕陽 茜色の錦三丁目

「錦三(きんさん)」の愛称で親しまれる、名古屋有数の繁華街「錦三丁目」。ビルの中に差し込む夕陽が、隣接するビジネス街からの人の流れを静かに待っているかのような、夜の賑わいの前の情緒を高める。この地域は、徳川家康が行った「清須越し」後、綺麗な碁盤の目で形成され、名古屋城の城下町として商人を中心に栄えた。清須にあった町名は、「朝日町」「針屋町」「宮町」など、今も地元で親しまれている。



所在地 | 中区錦三丁目

投稿者

a405yoさん

タイトル

夕暮れに染まる街

コメント

昔からあまり変わらない雰囲気、この境界。光の当たり具合で、顔が変わるこの境界が好きです。



名古屋城のお堀沿い

金シャチ横丁に寄り添う木陰で癒しの時間を

平成30(2018)年3月、名古屋の新たな名所としてオープンした「金シャチ横丁」は、「義直ゾーン」と「宗春ゾーン」で構成されている。名古屋城正門のすぐ脇にあるのは、定番のなごやめしが楽しめる「義直ゾーン」で、そのすぐ側のお堀沿いに植わる立派な桜の木々が歩道に覆いかぶさるように枝葉を伸ばしている。食を楽しんだあと木漏れ日の下、のんびり散歩するにも、緑に癒されながらジョギングするにも気持ちがいいスポット。



所在地 | 中区本丸

投稿者

石川清彦さん

タイトル

緑のトンネル

コメント

深緑のトンネルの中、ジョギングすると気持ちいいです。



名古屋最大の墓園

春には1,500本の桜が満開に

昭和22(1947)年に戦災復興土地区画整理事業の一環として計画された「平和公園」。墓地を取り囲むように整備された同公園は、約1,500本のソメイヨシノやシダレザクラを楽しめる。掲載写真の中央にある塔は、21世紀をイメージした高さ21mのモニュメントで「虹の塔」と名付けられている。中に入り見上げると七色のガラスに差し込む光がキラキラと輝いて美しい。



所在地 | 千種区平和公園三丁目

投稿者

佐々基成 さん

タイトル

春陽あびて

コメント

春爛漫、桜の満開頃に平和公園の平和堂から、階段両側から桜が迫ってくる様は圧巻でした。西側には虹の塔が背景となり、春が満喫できた良き一日でした。



尼と坊

歴史ある神社と隣り合う風情あるふたつの坂

名鉄瀬戸線尼ヶ坂駅の東側に位置する片山神社は、江戸時代に吉野から移した桜と豊かにわき出る泉で知られる名所だった。その当時から、神社の東側には「坊ヶ坂」、西側には「尼ヶ坂」と呼ばれる坂があった。「坊ヶ坂」は高い石垣に囲まれており、街中でありながら、静かで懐かしさを感じさせる。「坊ヶ坂」は東区史跡散策路、「尼ヶ坂」は、北区史跡散策路として市民に親しまれている。



所在地 | 東区芳野二丁目

投稿者

sugawara さん

タイトル

尼ヶ坂

コメント

大ナゴヤツアーズのまち歩き中に会った坂です。



昔、買い物に出かけたあの場所も… 時の流れを映す広小路の景色

広小路通は、納屋橋から東新町まで、名古屋市内を東西に結ぶ名古屋を代表するメインストリートのひとつ。特に、栄近辺にはいくつものデパートや商業施設が立ち並び、多くの人で賑わっている。近年はその通り沿いにあった老舗デパートが長い歴史に幕を下ろしたり、栄のランドマークとも言える建物が高層ビルへと生まれ変わるなど、馴染み深い見慣れた景色は少しずつ、しかし大きく変わろうとしている。



所在地 | 中区栄三丁目

投稿者

稲生景子さん

タイトル

おばあちゃん有難う

コメント

おばあちゃんにデパートの屋上や中日ビルの回転レストランへ連れていってもらったことを思い出します。



名古屋ルーセントタワー周辺で まち中に隠れたアートを見つける

巨大なビルが林立する名古屋駅地区は、昔から地下街が広く整備され、地下からもビル同士を繋いでいる。その地下通路のひとつ「ルーセントアベニュー」は駅の北に位置する「名古屋ルーセントタワー」と名古屋駅とをつなぐ通路で、いくつかのアート作品が点在している。通路の途中にある吹き抜けから差し込むカラフルな光の作品は、吉田重信作「INFINITY LIGHT（無限の光）」。赤、黄、青の光越しに眺めると、街はいつもと違う表情で楽しませてくれる。



所在地 | 中村区牛島町

投稿者

a405yo さん

タイトル

モザイク柄と名古屋ビル群

コメント

時間帯によって、モザイク柄がくっきり浮かび上がり、街の雰囲気が一気に楽しくなりました。



100年の歴史を紡ぐ学校に 春の訪れを告げる桜

名古屋女子大学中学校・高等学校は、大正4(1915)年、社会における女性の自立、地位向上を願って東区葵町に創立され、昭和10(1935)年に現在地に移った。今あるソメイヨシノは、近隣にあったゴルフ場と同校によって植えられ、その後名古屋市に寄附されたものといわれる。時を経て大きく成長した幹は存在感も十分で、毎年満開の花が、新学期で希望いっぱいの生徒たちを優しく迎え、祝福している。見頃は3月下旬から4月上旬。



所在地 | 瑞穂区汐路町

投稿者

猪子重正さん

タイトル

100年桜 満開

コメント

戦前、この場所の前方にある山崎川の周辺に、9ホールゴルフ場があり、その当時の桜の木がまだ残っていて、元気なサクラを咲かせています。



懐かしい空気の中で育む今のカルチャー アート、グルメで発展し続ける長者町

戦後、全国有数の繊維問屋街として賑わった長者町は、近年、「あいちトリエンナーレ」の会場となったことから、さまざまなアート作品と出会えるまちになった。どこか昔懐かしい空気感を残しながらも、おしゃれで個性的な店舗が集まり、アートやグルメなど、いろいろなテーマでまちを楽しむことができる。秋には「長者町あびす祭り」が開かれ、2日間で約10万人もの来場者が訪れるほどの活気を生む。



所在地 | 中区錦二丁目、丸の内二丁目

投稿者

井上越子さん

タイトル

長者町繊維街

コメント

幼子の時、母の仕事で連れられて通った街。いつしか大人になったら、自然とここで働いていた。半世紀たってもこの景色は沁みついている。



名古屋駅の隣にある憩いの場 ノリタケの森で 眺める産業遺産とビル群のコントラスト

洋食器といえば、多くの方がノリタケ(株式会社ノリタケカンパニーリミテド)を思い浮かべるのではないだろうか。その創立100周年記念事業として平成13(2001)年にオープンした「ノリタケの森」には、陶磁器焼成用トンネル窯の煙突跡が並ぶ広場がある。家族でのんびり過ごすのにぴったりのこの場所からも、名古屋駅のビル群が望め、そのコントラストが楽しい。

*名古屋市都市景観賞(平成14年度)、名古屋市認定地域建造物資産(平成24年認定)



所在地 | 西区則武新町三丁目

投稿者

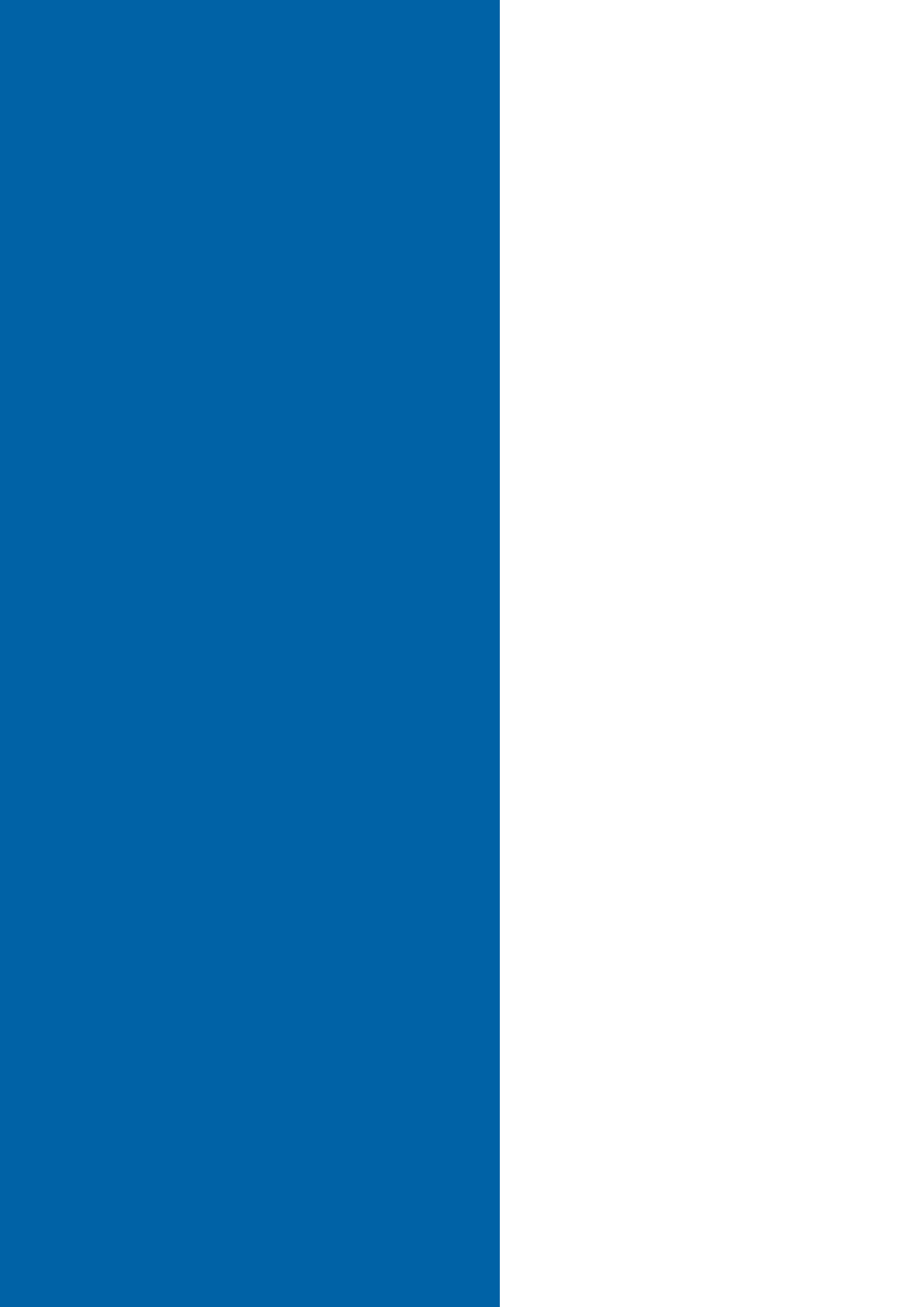
佐々基成 さん

タイトル

春風に誘われて

コメント

緑に包みこまれたノリタケの森に、鯉のぼりが掲げられました。柔らかな風に吹かれて鯉のぼりが泳いでる風景を、親子連れが楽しく鑑賞しており、きっと良き春の思い出になったでしょう。



皆さんのコメントをご紹介します

まちなみデザイン20選の市民投票の際に皆さんからいただいたコメントをご紹介します。

テラスせ納屋橋の低層部、高層部が街並みの中で対照的でよらしいと感じる。

Good Design

何気ない街の紅葉の風景が良いです。

この通り沿いに祖母のお在所がありました。子供の頃時々連れて行ってもらった記憶があります。最近ではお洒落なお店が増えた事でまた何十年かぶりにランチなどで行くようになりとても懐かしい場所です。

新旧の景観がうまく融合した街並みを形成している。

「今は閉店してしまった丸栄」と「今は使われていない観覧車(いつ撤去されるかわからない)」のコントラストが見事です。

綺麗ですねー

約20年前、子供が名古屋の大学に行ったのを機に遠かった名古屋が身近になりました。このノスタルジックな地下街はちょっとずさんだ心の日もゆったりと迎えてくれています。

歴史を感じる風情ある風景が、名古屋の街中にあるのですね。

一番すきです。

子供の頃を思い出し、ふるさとを思い出しました。

熱田神宮の新年初詣で時期だけは賑わっていますが、それ以外は寂しい商店街ですね。若い店主の掘り起こしが必要かもしれません。

滝の岸壁を登頂した誇らしげな少年のように頼もしい気持ちになります。

子供の頃父に連れられて行った港祭りを観覧車を見て、思い出した。大人になり忘れてしまいがちな、あの頃の幸せを再び感じる事ができた懐かしく優しい風景でした。

現役時代、伏見改札から直結していたのでよく利用していました。

モニュメントから美しい音楽が流れてくるような。

都会に季節を感じさせてくれる素敵な風景です。

ここはよく通る道で馴染みがあります。商店街にお母さんが買い物に来る、今はなかなかない光景が浮かぶ良い作品だと思います。

山崎川ではよく使われる箇所ですが、アングルが素晴らしい。新鮮な感じがします。

「明るい希望」が伝わってきます。

一昨日ポール・マッカートニーがドームでジョージ・ハリソンのウクレレが上手で彼の家で二人で一緒に弾いていた話を懐かしく語った。ビートルズも下積み時代がありドイツでつらい体験があった話を思い出した。この写真から、ノーベル賞もいいが世界で通用するミュージシャンをこの地から出したいものだった。

秋の桜並木の紅葉もとても綺麗ですね。

名古屋が誇れる景観だと思います。

石垣が懐かしく思われます。

近場にこんなにも美しい場所があることを初めて知りました。

桜が、うちよせる波のようにみえました。生命力を感じます。

新旧の建物が、橋も含めて良く調和していると感じます。

テラスせ納屋橋が堀川沿いで橋の高低差がバランス良く都市空間での色調が素晴らしい、また夜、夜景として非常に存在感を表している。

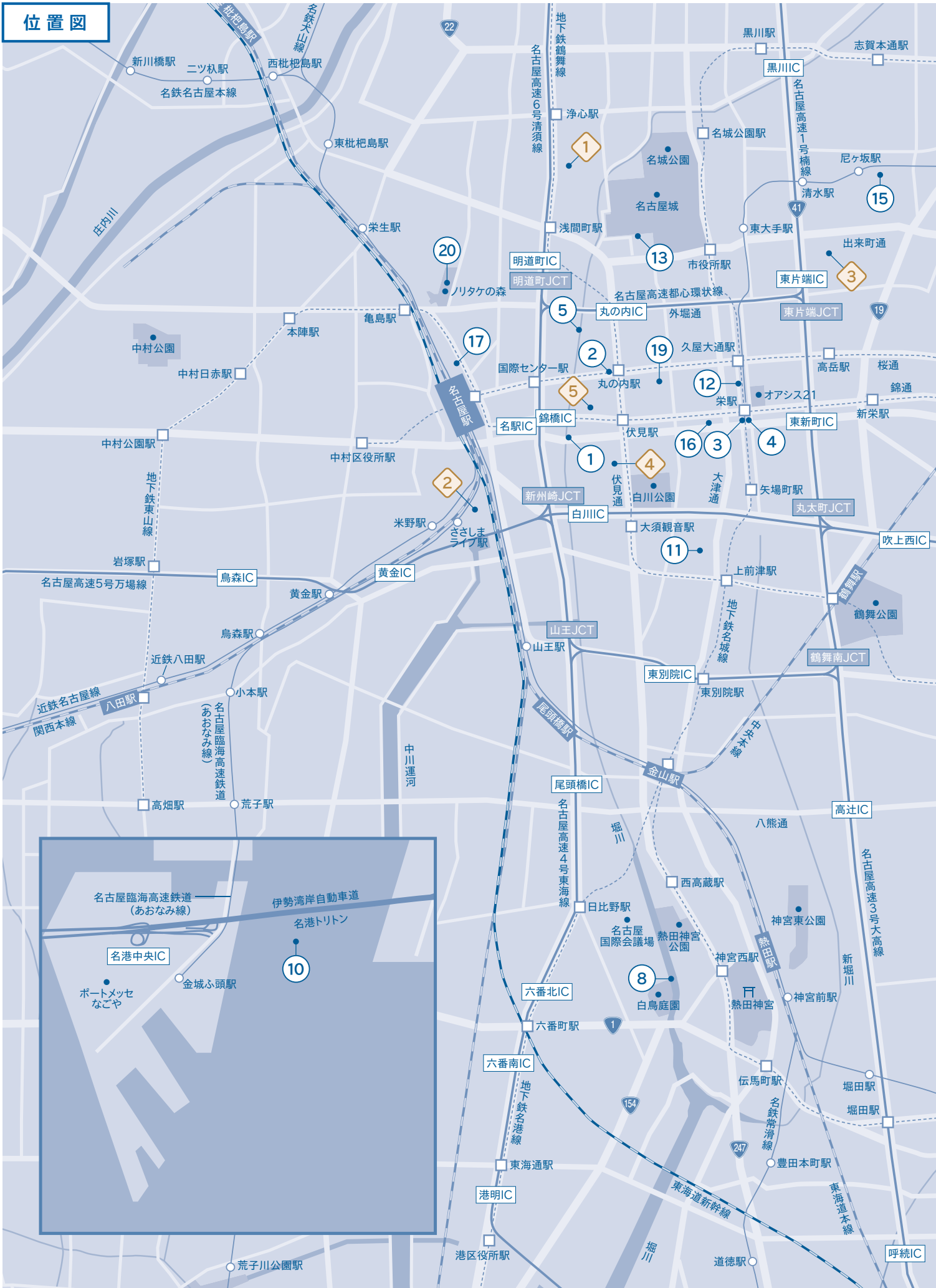
青空と、みどり、水の勢いの対比が美しく、すがすがしく、写真から元気をもらえました。

色彩が鮮やかで美しく、元気をいただきました。

かつてはどこもこういう風景だったと思います。

周辺の歴史的建物と調和したまさに納屋橋の懐かしさを感じさせるまちなみだ!!!

位置図





- ①～⑤ まちなみデザイン賞**
- 1 LT城西2
 - 2 グローバルゲート
 - 3 料亭か茂免の白壁
 - 4 印傳屋名古屋御園店のサイン
 - 5 ランプライトブックスホテル名古屋のサイン
- ①～⑳ まちなみデザイン20選**
- 1 納屋橋の再生
 - 2 桜通のイチョウ並木
 - 3 希望の泉
 - 4 希望の広場から見たテレビ塔
 - 5 円頓寺商店街
 - 6 日泰寺奉安塔への階段
 - 7 徳川園
 - 8 堀川から見た国際会議場
 - 9 山崎川・秋の桜並木
 - 10 船上から見た名港トリトン
 - 11 万松寺の夜景
 - 12 錦三丁目の夕景
 - 13 金シャチ横丁とお堀の間の緑のトンネル
 - 14 平和公園の「虹の塔」
 - 15 坊ヶ坂
 - 16 広小路通沿いのデパート
 - 17 ルーセントタワー付近から見た名古屋駅ビル群
 - 18 名古屋女子大学中学校・高等学校周辺の桜並木
 - 19 長者町織維街
 - 20 ノリタケの森から見た名古屋駅ビル群